

日本共産党ならではの 役割を發揮します

総選挙後の新しい政治状況のなかで、日本共産党ならではの3つの役割を自覚してがんばります。

防波堤 の党



暮らし・平和・民主主義を破壊する 逆流(自公・維新)に立ちはだかる

国政では安倍・自公政権、大阪では橋下・維新——暮らし・平和・民主主義を破壊する逆流にたいして、日本共産党は正面から立ちはだかる「防波堤の党」としての役割を果たします。

大阪でも世論の多数は「増税ノー」「改

憲ノー」です。この国民の声を代弁し、正面から対決する野党としての仕事を果たせるのは日本共産党以外にありません。ある保守の有力政治家も、「共産党が正面からたたかってくれることで、背筋がしゃんとする政治家がいる」と語ります。

変革者 の党



新しい政治を求める 国民の声にこたえて

消費税増税に頼らずとも、社会保障充実・財政再建への別の道があることを示した「経済提言」、日米軍事同盟を離ればどんな展望が開けるかを示した「外交ビジョン」、さらに「即時原発ゼロの提言」「尖閣問題の提言」「いじめ問題解決の提案」



「震災・災害政策の転換の提案」。

日本共産党はどんな問題でも、いまの日本の大問題について、新しい政治を求める国民の模索と探求にこたえる政策提言をもち、その実現のために行動しています。

国民共同を すすめる党

各分野の国民運動をともに担う

消費税増税問題でも、TPP問題でも、「原発即時ゼロ」をめざす運動でも、日本共産党は政治的立場の違いをこえて、JAや広範な市民団体、保守層の方々とも手をたずさえて一点での共同をすすめてきま

した。大阪では橋下・維新による住吉市民病院つぶしや敬老パス有料化にみられるくらし破壊、大阪市職員に対する「思想調査」など民主主義破壊にたいして、共同の輪が広がりつつあります。